




lien

フードロス削減から始まる
コトづくり

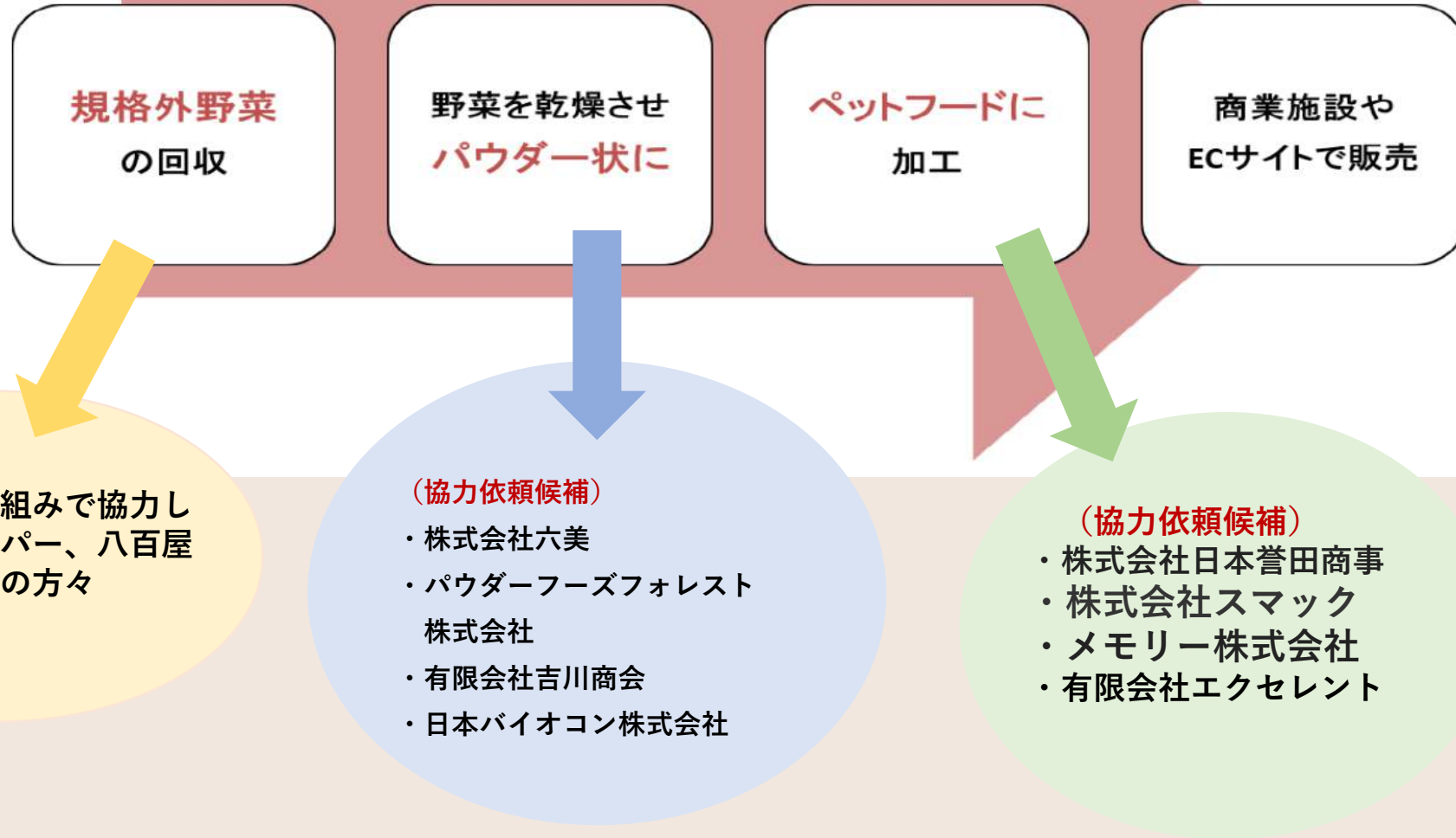
今年度の活動内容

 昨年度製作した商品の販売活動

 ペットフードでフードロス削減プロジェクト！

規格外野菜を使用したペットフード

製造・販売の流れ



野菜パウダーを製造する企業で、中にはパウダー化依頼も受け付けている企業もある

フードロス観点からのメリット

フードロスを削減するために、規格外野菜・果物、売れ残り野菜・果物（事業系食品ロス）をペットフードの材料に使用します。

事業系食品ロスは、日本における食品ロス総量522万トンのうち、275万トン（53%）を占めています。事業系食品ロスには、食品の製造過程で発生した規格外品や返品商品、外食店やスーパーでの売れ残り、食べ残しなどが挙げられます。



522万トンのうち、
事業系食品ロスは **275**万トン
で**53**%を占めており、
家庭系食品ロスは **247**万トン
で**47**%を占めている



🐕 ペット(犬や猫)におけるメリット 🐈



①肥満防止



犬の肥満



猫の肥満

動物病院に来院する犬・猫の肥満率

→半数ほどの飼い犬・猫が肥満だと判断されている

◎ペットフードに比べてカロリーが低い

一般的なペットフード 330kcal / 100g

ブロッコリー 33kcal / 100g

カボチャ 26.1kcal / 100g

ほうれん草 23.2kcal / 100g

さつまいも 131.9kcal / 100g



②関節疾患の防止

ブロッコリー、カボチャ、ほうれん草、さつまいも等の野菜に含まれる栄養素
(抗酸化物質、ビタミン、ミネラル、食物繊維)
関節の炎症の軽減や健康促進に役立つ

**低カロリー & 高栄養素の野菜が
肥満防止や関節疾患の防止に寄与する!**